

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校 第1回未来授業研究会

SSHの目指す カリキュラム・マネジメントについて



令和7年5月1日(木)
@ 視聴覚室

SSHの趣旨

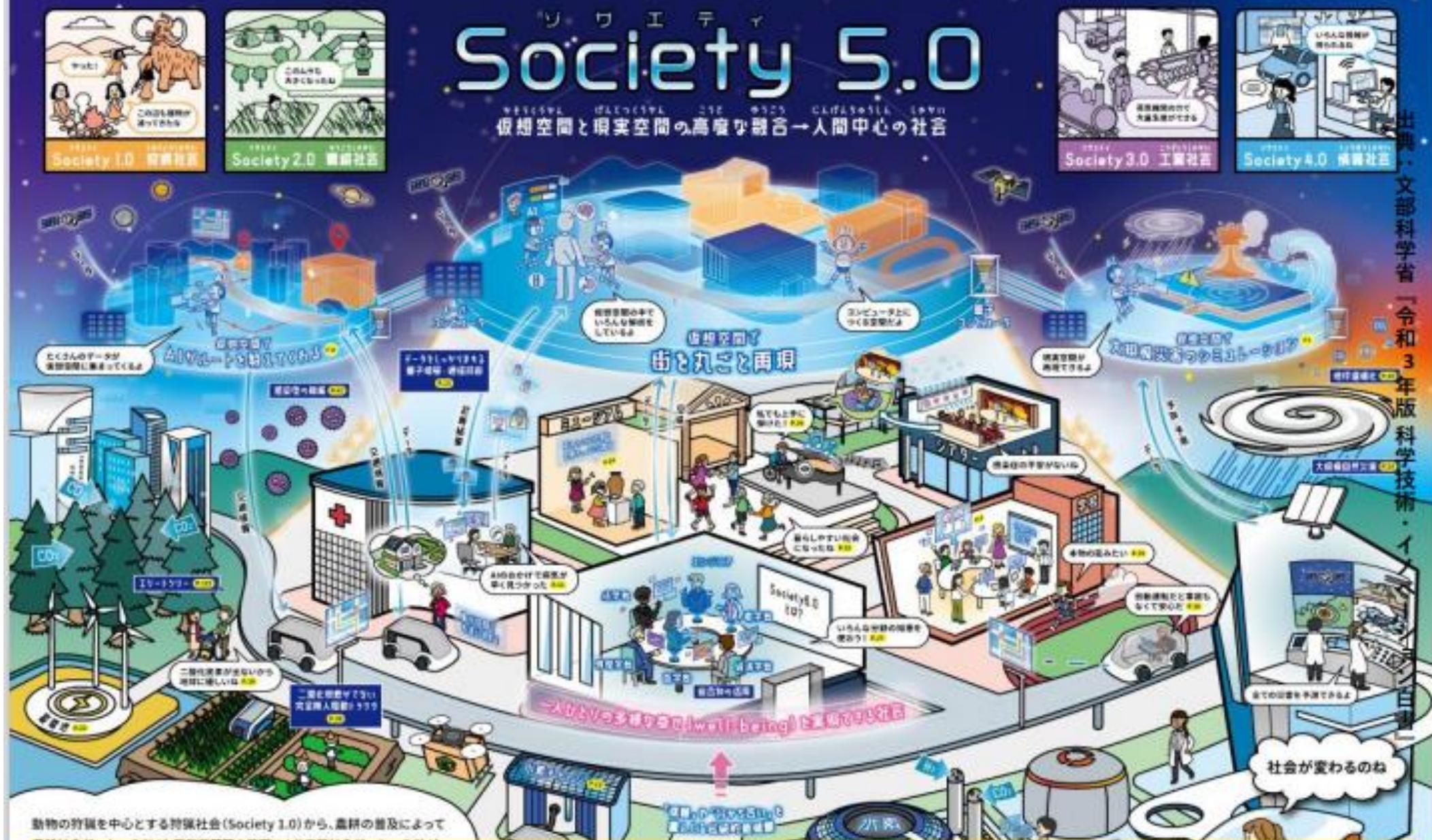
先進的な理数系教育を通して、生徒の科学的な探究能力等を培い、将来国際的に活躍する

科学技術人材の育成を図ること。



Society 5.0

仮想空間と現実空間の高度な融合→人間中心の社会



出典：文部科学省「令和3年版科学技術・イノベーションイニシアチブ」

動物の福祉を中心とする持続社会(Society 1.0)から、農耕の普及によって

仮想空間と現実空間の高度な融合。社会のあらゆるところにデジタル技術。よき創り手、よき使い手を育てる必要。

SSH指定校の全体イメージ

(文部科学省資HPより)

【基礎枠】SSHとしての指定

リーディング期 (先導期～)
科学技術人材育成システム改革を
先導

【発展期】 (Ⅲ期・Ⅳ期)
自らの強み・特色を深化・恒常化
し域内外に波及する取組を確立

【創成期】 (Ⅰ・Ⅱ期)
SSH指定校としての取組・体制
等の実施・確立

・ 認定枠

全国的なモデルとしてこれまでの
研究開発の成果を基にした
多様な実践活動を展開・普及

・ 基礎枠

自然科学を主とする先進的な理数系
教育に関する研究開発を実施

・ 文理融合基礎枠

社会の諸課題に対応するため、自然科
学の「知」と人文・社会科学の「知」との
融合による「総合知」を創出活用した先
進的な理数系教育に関する研究開発
を実施

SSH指定校への支援



管理機関への支援

【コーディネーター】

SSH指定校や地域の探究・
理数系教育の充実、域内外
の学校への成果普及、SSH
指定校と外部機関との連携
推進を目的として、希望する
管理機関にSSHコーディネー
ターを配置



SSH Ⅱ期 研究課題

未来イノベーションを牽引する人材の育成を
目指す中高一貫した
「宮西型STEAMプログラム」の推進



テーマⅠ

高校3年間及び附属中学校を含めた
6年間の探究プログラムの再編

テーマⅡ

「科学技術人材に必要な資質・能力」の育
成指標を軸にしたカリキュラム・マネジメントの推進

テーマⅢ

生徒の探究を支える外部人材との
連携の拡大

テーマⅡ

**「科学技術人材」に必要な資質・能力の
育成指標を軸にした
カリキュラム・マネジメントの推進**

カリキュラム・マネジメントとは

各学校では、教育課程の編成において、カリキュラム・マネジメントとして**学校教育全体を通して育成すべき力**と、**各教科等で育成すべき資質・能力との相関・関連を図りつつ、教育活動全体を主体的に改善していくことが重要**となる。

本校教育全体の方向性をそろえる

目指す生徒の骨組み

- 批判的思考力
- 協働的思考力
- 創造的思考力
- 課題発見力
- 科学的探究力
- 表現発信力

高いレベルでの進路実現

第Ⅱ期SSH活動の推進

批判的 思考力

自分の考えを柔軟
に更新していく力

- ・情報を鵜呑みにしない人
- ・論理的に思考できる人
- ・自分の考えや自分自身を俯瞰的・客観的・内省的に見ることができる人

協働的 思考力

他者との対話で自
分の考えを再構築
する力

- ・他者とコミュニケーションが取れる人
- ・他者やチームの成果に貢献できる人
- ・協働活動をとおして得た新たな知識や技術を自分自身にフィードバックできる人

創造的 思考力

新たな価値を生み
出す力

- ・知識・技能・態度等を総合的に活用して構想できる人
- ・最適解を見出す人
- ・自分の価値観で判断できる人

課題 発見力

社会・世界・学問を
突き詰める力

- ・身の回りのことから興味や関心を見出す人
- ・感性の鋭い人
- ・自分の強みを理解している人

科学的 探究力

論理的で説得力の
ある考察をする力

- ・課題解決までのプロセスを計画できる人
- ・知識・技能・態度等を総合的に身につけている人
- ・課題解決のため実験や調査を実践できる人

表現 発信力

多様な社会におい
て自分自身の考えを
伝える力

- ・表現力図・表・グラフなどを効果的に用いることができる人
- ・日本語・英語で説得力のある表現ができる人
- ・日本語・英語を使って積極的に校外に向けて発信する人

高い進路実現

SSHの充実

目指す生徒像

6つの力の育成

担任

部顧問

保護者

各教科担

探究
指導者

地域
小中学校

高い進路実現

SSHの充実

目指す生徒像

それぞれの「ねらい」

担任

部顧問

保護者

各教科担

探究
指導者

地域
小中学校

高い進路実現

SSHの充実

目指す生徒像

6つの力の育成

担任

部顧問

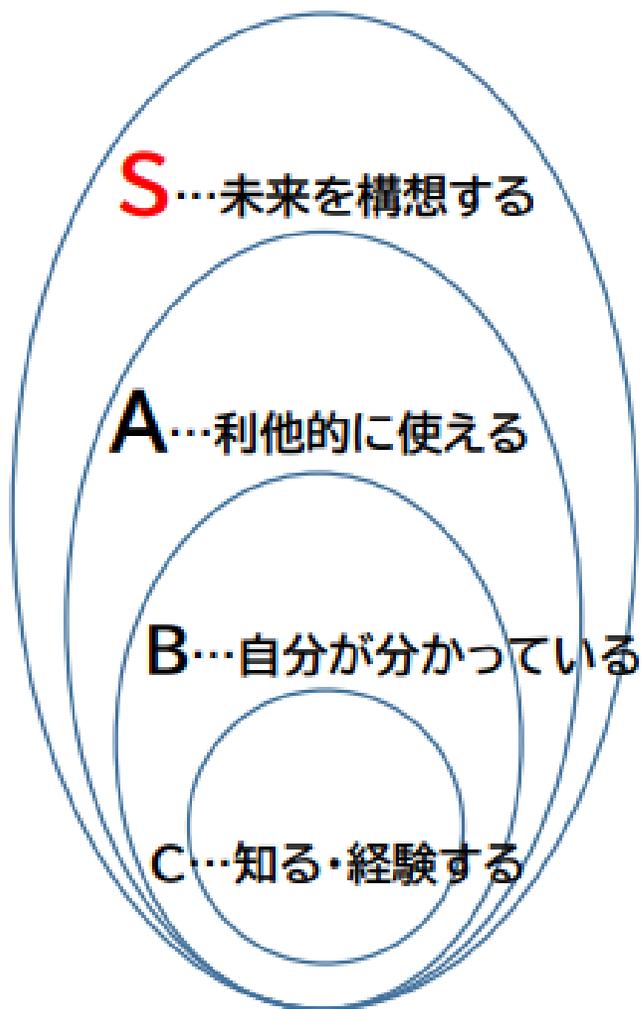
保護者

各教科担

探究
指導者

地域
小中学校

本校SSHの育成する資質・能力達成レベル 宮西Competency・Matrix



Lv	批判的思考力	協働的思考力	創造的思考力	課題発見力	科学的探究力	表現発信力	観点別評価
	自分の考えを柔軟に更新していく力	他者との対話で自分の考えを再構築する力	新たな価値を生み出す力	社会・世界・学問を突き詰める力	論理的で説得力のある考察をする力	多様な社会において自分自身の考えを伝える力	
S	論理的合理的に思考し、内省することによって吟味した考えを活用して新たな構想をしている。	自他のよさを認め、特徴を生かしながら協働して得た考えを活用し新たな構想ができる。	自分のアイデアを構造化し、理想の実現や課題解決のための新たな構想ができる。	複雑な問題状況の中から未来をよりよくする「問い」を設定している。	探究のプロセスを突き詰め、得た知識や技術、態度を総合的に活用している。	自分の考えや意見を英語で論理的に説明し、質疑応答ができています。	a ↑ 理数科生達成レベル
A	論理的合理的に思考し、内省することによって吟味した考えを社会や他者の課題解決に活用している。	自他のよさを認め、特徴を生かしながら協働して得た考えを社会や他者の課題解決に向けて活用している。	既成概念にとらわれない自由な発想で新たなアイデアを生み出すことができている。	複雑な問題状況の中から現状をよりよくするための「問い」を設定している。	仮説を立て、再現性・客観性のある検証方法を計画し、粘り強く実践することができている。	自分の考えや意見を日本語で論理的に説明し、質疑応答ができています。	
B	論理的合理的に思考し、内省することによって吟味した考えを自らの課題解決に活用している。	自他のよさを認め、特徴を生かしながら自らの課題解決に向けて粘り強く取り組んでいる。	粘り強く複数の事象を組み合わせたリ応用したりすることで、新たな発見や気づきを得ようとしている。	身の回りのことから、自らの「問い」を設定し、解決に向けて必要なスキルや知識を粘り強く得ようとしている。	自らの課題解決のための仮説を立て、実現可能な検証方法を計画している。	他者の発表や意見に真摯に耳を傾け、自らの課題解決に生かしている。	b ↑ 普通科生達成レベル
C	根拠に基づいて自分の考えを持つことを経験し、その意義を理解している。	協働することを経験し、その意義を理解している。	理想の社会について考えることを経験し、その意義を理解している。	身の回りのことから「問い」を設定することを経験し、その意義を理解している。	探究のプロセスを経験し、課題解決のためのプロセスであることを理解している。	自分の意見を他者に説明することを経験し、その意義を理解している。	

例) R7 1 年生・2 学期末観点別評価

普通科：きみろん I

「課題設定プログラム②」 1 2 月～2 月

活動内容：フィールドワークの経験を生かし、

個人の探究課題（テーマ）を設定する。

**目標（ねらい）：探究課題（テーマ）を立て、
探究計画を作成する。**

評価の場面：①提出した探究計画書 ②活動の様子を観察

評価者・評価方法：ゼミ担当者・パフォーマンス評価

目標(ねらい) : 探究課題 (テーマ) を立て、
探究計画を作成する。

評価の場面 : ①提出した探究計画書
②活動の様子を観察

観点別
目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体性
先行研究調査ができる 批判的思考力 課題発見力	探究課題 (テーマ) を立て、研究計画を立てることができる 批判的思考力 科学的探究力 課題発見力 創造的思考力	行動できる・実践できる・協働できる 協働的思考力 創造的思考力

育成する
6つの力
(目標)

批判的思考力	協働的思考力	創造的思考力	課題発見力	科学的探究力	表現発信力
○	○	○	○	○	

	知識・技能	思考・判断・表現	主体性
目標	先行研究調査ができる	探究課題（テーマ）を立て研究計画を立てる	行動できる・実践できる・協働できる
6つの力	批判・課題	批判・課題・科学・創造	協働・創造
S 未来を構想する	参考文献として関連性のある書籍や論文を複数取り上げて比較したことが、課題設定に生かされている。	未解明な課題を見いだして課題（テーマ）を立て、その課題を解決することで、未来や社会がより良いものになることがイメージできている	自分の探究活動がどう未来や社会に良い影響を与えるかイメージできている。
A 利他的に使える	参考文献として関連性のある書籍や論文を複数取り上げて比較している。	課題（テーマ）を立て、解決のための仮説を立て、関連性のある資料（書籍や論文）を複数参考にして検証方法を計画していることを記載している。	他者の意見を積極的に取り入れ、自らの課題解決に生かしている。
B 自分に使える	参考文献として関連性のある書籍や論文を複数読んでいる。	課題（テーマ）を立て、解決のための仮説を立て、実現可能な検証方法を計画している。	課題を自分事として捉え、課題解決の意義が説明できている。
C 知る・経験する	参考文献が記録されている。	自らの課題（テーマ）を立てている。 探究内容が他者の人権や生命、環境や社会に悪影響を与えるものになっていない。	探究計画書を提出できた。

知識・技能

目標

先行研究調査ができる

6つの力

批判的・課題発

S

未来を構想する

参考文献として関連性のある書籍や論文を複数取り上げて比較したことが、課題設定に生かされている。

A

利他的に使える

参考文献として関連性のある書籍や論文を複数取り上げて比較している。

B

自分に使える

参考文献として関連性のある書籍や論文を複数読んでいる。

C

知る・経験する

参考文献が記録されている。

Lv	批判的思考力	課題発見力	観点別評価
・	自分の考えを柔軟に更新していく力	社会・世界・学問を突き詰める力	
S	論理的合理的に思考し、内省することによって吟味した考えを活用して新たな構想をしている。	複雑な問題状況の中から未来をよりよくする「問い」を設定している。	
A	論理的合理的に思考し、内省することによって吟味した考えを社会や他者の課題解決に活用している。	複雑な問題状況の中から現状をよりよくするための「問い」を設定している。	
B	論理的合理的に思考し、内省することによって吟味した考えを自らの課題解決に活用している。	身の回りのことから、自らの「問い」を設定し、解決に向けて必要なスキルや知識を粘り強く得ようとしている。	
C	根拠に基づいて自分の考えを持つことを経験し、その意義を理解している。	身の回りのことから「問い」を設定することを経験し、その意義を理解している。	

本質

・実践で
できる

創造

がどう未来や
解を与えるかイ
る。

積極的に取り入
解決に生かし

して捉え、課
が説明できてい

提出できた。

評価基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体性
目標	先行研究調査ができる	探究課題（テーマ）を立て研究計画を立てる	行動できる・実践できる・協働できる
6つの力	批判・課題	批判・課題・科学・創造	協働・創造
S 未来を構想する	目標に対してCompetency・Matrixのレベル「S」に達する生徒の姿		
A 利他的に使える	目標に対してCompetency・Matrixのレベル「A」に達する生徒の姿		
B 自分に使える	目標に対してCompetency・Matrixのレベル「B」に達する生徒の姿		
C 知る・経験する	目標に対してCompetency・Matrixのレベル「C」に達する生徒の姿		

	知識・技能	思考・判断・表現	主体性
目標	先行研究調査ができる	探究課題（テーマ）を立て研究計画を立てる	行動できる・実践できる・協働できる
6つの力	批判・課題	批判・課題・科学・創造	協働・創造
S 未来を構想する	参考文献として関連性のある書籍や論文を複数取り上げて比較したことが、課題設定に生かされている。	未解明な課題を見いだして課題（テーマ）を立て、その課題を解決することで、未来や社会がより良いものになることがイメージできている	自分の探究活動がどう未来や社会に良い影響を与えるかイメージできている。
A 利他的に使える	参考文献として関連性のある書籍や論文を複数取り上げて比較している。	課題（テーマ）を立て、解決のための仮説を立て、関連性のある資料（書籍や論文）を複数参考にして検証方法を計画していることを記載している。	他者の意見を積極的に取り入れ、自らの課題解決に生かしている。
B 自分に使える	参考文献として関連性のある書籍や論文を複数読んでいる。	課題（テーマ）を立て、解決のための仮説を立て、実現可能な検証方法を計画している。	課題を自分事として捉え、課題解決の意義が説明できている。
C 知る・経験する	参考文献が記録されている。	自らの課題（テーマ）を立てている。 探究内容が他者の人権や生命、環境や社会に悪影響を与えるものになっていない。	探究計画書を提出できた。

高い進路実現

SSHの充実

「ねがい」=教育目標

「ねらい」

各教科

6つの力

「ねらい」

探究活動